

連載 文化財を巡る

No.28



住屋遺跡①

住屋遺跡は、現在の平良庁舎一帯に広がる、グスク時代から近世・近代にかけての遺跡です。発掘調査で出土した遺物は、宮古島市内では最多を誇り、その種類も非常に多岐にわたります。そこで今回は、住屋遺跡の発掘調査成果の中でも約九〇〇〜四〇〇年前のグスク時代に絞って、当時の人々の残した生活の痕跡についてご紹介したいと思います。

住屋遺跡の発掘調査で確認された代表的な当時の人々の生活の跡としては、建物跡と埋葬人骨があります。建物跡では、堅穴式住居と掘立柱建物跡の二つの種類が確認されています。堅穴式住居は、地面を掘り込み、地面と直接接するような住居形態になります。一方で、掘立柱建物跡は、四本柱、六本柱、九本柱などの柱の敷を使用し、構築された建物で、直接地面と接しない形態になります。発掘調査では、十五世紀の中頃を境に、堅穴式住居から掘立柱建物へ移り変わったことが分かってきて

います。このような建物跡の変遷は、荷川取の尻川遺跡でも確認されていることから、市街地周辺での建物形態の変遷を考える上で重要な成果があったと言えます。

埋葬人骨の点からは、成人と乳幼児では埋葬方法に違いがあったことが確認されています。成人は、単純に土を掘り込んで埋葬する土葬の形態を取り、足は膝を立てるか、折り曲げる屈葬の姿勢をしています。一方、乳幼児は、掘り込んだ土の周囲を石で囲い、テーパー珊瑚などを蓋石に用いる石棺墓の形態をしています。このような年齢層によって埋葬方法が異なる事例は、住屋遺跡の大きな特徴であると言えます。

ちなみに、発掘調査で発見された人骨は、骨の長さなどから推定身長を導き出すことができます。これまで確認された宮古の約六〇〇〜四〇〇年前の人骨の推定身長は、男性が一五七・五cmで、女性は一四五・六cmとなります。現在の沖縄県の成人の平均身長と比較

した場合、男性は一二cm、女性は一〇cm低かったことが分かります。

住屋遺跡からは、全体で一〇基近い建物と十七体の埋葬人骨が確認されており、宮古島市内最大規模のグスク時代の集落遺跡であることが分かります。次回は、中国産陶磁器などを中心とした島外から持ち込まれた資料について紹介いたします。





パニパニ☆スクール

市内小中学校で児童生徒が元気に取り組んでいるユニークな活動や取り組みを紹介するコーナーです。



報告

夢

宮古島市 実現助成事業

夢実現助成事業とは、宮古島市の児童生徒の人材育成及び教育指導者等の資質の向上を図ることを目的に、宮古島も教育の日に表彰された者を対象に、一人あたり30万円を限度に助成金を交付し、自らの夢実現の為に、視察研修の計画を立て実施する事業です。（助成事業の対象者が児童生徒の場合、保護者1名を助成事業の交付対象とする。）

平成28年度教育の日模範児童・生徒で表彰

小敷賀うららさん 佐良浜中学校1年

平成29年7月29日～8月7日の10日間において、那覇市伝統工芸館、日本科学未来館、気象庁、国立科学博物館等の視察研修を実施。

前泊琉愛君 鏡原中学校3年

平成29年8月16日～8月23日の8日間において、大阪医専、森ノ宮医療大学、大阪行岡医療専門学校等の視察研修を実施。
気象庁、国立科学博物館等の視察研修を実施。

～感想～

沖縄本島や東京で視察見学をしましたが、特に気象庁と日本科学未来館が心に残っています。週間天気予報をつくれるのは一部の人だけということや、地震観測については常にシミュレーションをしている事などを知ることが出来ました。未来館では、“未来逆算思考”コーナーで理想未来を描き、今自分達が何をすべきかを逆算し、何が考えられるか？他の施設でも地球環境や科学・未来の事について学ぶ事が出来て良かったです。今回の経験を生かし、天気予報官の夢を改めて確認する事が出来ました。

～感想～

将来の夢である医療従事者になる為、医療系専門学校のオープンキャンパスに参加してきました。放射線科、臨床検査科、臨床工学技士科を主に視察し、自分の夢の視野が広がりました。また、初めて医療機器にふれ、実際に扱い方を学び夢に近づいたような気がしました。このような貴重な体験をさせて頂いて、夢を実現させるために今回の経験をいかし、自分のレベルを上げ一生懸命頑張っていきたいと思います。

海外ホームステイ事業報告会



9月29日金曜日、JTAドーム宮古島の会議室において海外ホームステイ事業に参加した生徒の皆さんによる事業報告会が行われました。

報告会では、ひとりひとりが12日間の海外滞在期間中に感じたこと、このプログラムに参加できた喜びと感謝を述べました。「世界は多様であることを学び、積極性を持つことの重要性を改めて感じた」「授業で学ぶだけでは分からない日常会話でのコミュニケーションの難しさを知った。」など、日本とハワイの文化や習慣の違い、歴史的背景を肌で感じ、たくさんのことを学んだ生徒たち。「もっと違う国へ行って自分の幅を広げたい」「新しい事にも積極的にチャレンジしたい」と自身の将来へ向けての抱負も語ってくれました。

宮國教育長からは、「この経験を活かし、日本人として、日本にしっかりと足をつけて世界へ出てほしい。また、この交流をいつまでも繋げていくように保護者の方々にもハワイからの受け入れについてご協力をお願いしたい。」と挨拶をしました。



TOPICS

第12回宮古島市民総合文化祭 開催!

9月29日(金)、第12回宮古島市民総合文化祭「一般の部」展示部門が市中央公民館にて開催されました。こちらを皮切りに今年度の市民総合文化祭「一般の部」「児童・生徒の部」が約4ヶ月間の日程で開催されます。

今年も個性溢れる作品が並んだ本文化祭。開催に伴い執り行われましたオープニングセレモニーにて下地敏彦市長は、「是非会場に足を運び市の文化活動に触れて欲しい」とあいさつ。

また、宮國博教育長も「児童・生徒の部においては、子供達が持つ感受性、そして可能性を感じ取って頂きたい」市文化協会の大城祐子会長は、「文化の光が満ち満ちて、市民一人ひとりが潤いのある暮らし、穏やかな暮らし、希望に満ちた暮らしを営めることを願っています。」と述べ榎原芳樹市議会議長は、「趣味や特技を持つことへの意欲を高め、心豊かな宮古島市を創造する契機にして頂きたい。」とお祝いの言葉を述べました。

展示会場は、多くの来場者で溢れ、市民の数々の力作に足を止め見入っていました。教育委員会が主管となっている「児童・生徒の部」展示部門・発表部門・表彰式の様子は次号お知らせします。



11月以降の文化祭日程

「一般の部」	音楽祭	11月12日(日)	場所:マティダ市民劇場	時間:14:30～	入場料500円
	芸能祭	11月26日(日)	場所:マティダ市民劇場	時間:18:00～	入場料500円
	芸術劇場	1月20日(土)	場所:マティダ市民劇場	時間:18:00～	入場料2,000円

「児童・生徒の部」	音楽祭	11月5日(日)	場所:マティダ市民劇場	時間:15:00～
	郷土のお話大会	11月18日(土)	場所:市中央公民館	時間:15:00～
	表彰式	12月2日(土)	場所:市民中央公民館	時間:14:00～



～みんなで楽しく体づくり!～

平成29年度体育の日関連イベントを開催!

平成29年10月9日(月)に、総合体育館と周辺施設で体育の日関連イベント(主催:市民スポーツ課・協力:宮古島市健康づくり推進員、宮古島市スポーツ推進委員協議会、宮古島市健康増進課)が開催されました。

市民一人ひとりに自身の体力を確認してもらい、健康保持増進や体力向上に繋げてもらう目的で行われた本イベントには、子供から大人まで幅広い年代層の市民が来場して、握力測定や上体起こし、反復横跳びなどの体力テストでさわやかな汗を流しました。

また、陸上競技場トレーニング室では、健康運動指導士の和田芳勝先生によるトレーニング教室が開催され、参加者たちが正しいトレーニング器具の使用方法や効果的な体の鍛え方を学びました。

球場や運動場などの周辺施設も無料開場され、訪れた利用者は存分に運動やスポーツを楽しんだ様子でした。



研究員入所式

10月2日に平成29年度後期(第17期)長期研究教員入所式が行われました。研究教員は学校における課題や教諭自身の授業における課題をもとに自らテーマを決め、教師としての資質・能力を高めること、学校現場に戻ってその成果を還元・普及していくことを目的に研究を行います。

仲間 麻子(宮古島市立北小学校 教諭) 研究主題を「互いに認め合い、協力しながら活動できる子の育成」とし、特別活動における話し合い活動の授業を通して、活動意欲を高め、互いに認め合う好ましい人間関係づくりや協力しながら活動できる子どもを育てる指導法について研究を深めていきたいです。

洲鎌 ヒロ子(宮古島市立平良中学校 教諭) 研究主題を「科学的な思考力・判断力・表現力を育む学習指導の工夫」とし、生徒が主体的に学ぶ中で科学的な思考力・判断力・表現力を高めるような理科の授業づくりや学習指導方法について、しっかりと研究に励みたいと決意を述べました。



